

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
2021年度事業計画

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2021年度の実業計画を次の通り定める。

## I 事業計画基本方針

当財団は、ウイズコロナ時代といわれる2021年度においても、以下の基本方針を掲げ、コロナ対策に万全を期して事業を推進する。

### 1. 財団事業の展開

- 1) 定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話（はなしあい）を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。
- 2) コロナ禍における財団事業の展開においては、①関西セミナーハウスの事業を2021年4月から2022年3月まで臨時休業とする。②アカデミー運動における事業活動は、3密対策を徹底し、研修・セミナーは極力リモートでの会議実施を目指す。
- 3) 関西セミナーハウス施設の有効活用策を検討するため、プロジェクトチーム（施設再生プロジェクト）を立ち上げる。当プロジェクトチームは、事業再開を含めた施設の具体的展開策を具申する。

なお、当プロジェクトチームは代表理事直轄とし、本部事務局が取りまとめる。

### 2. 事業の推進

#### 1) 公益目的事業

##### (1) 東・西活動センター

- ① 現行のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ② 各活動センターのプログラムは、それぞれにおける収支バランスをとることを原則とする。寄付金も含めて、活動センターとしての収支バランスを目指す。
- ③ 参加者同士の対話中心のプログラム実施にあたっては、オンライン会議のメディア等を積極的に活用して、新規プログラムの開発に取り組む。
- ④ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、

それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。

- ⑤ 得られた成果を機関紙による広報を超え、広く社会に発信する。基幹プログラムの成果は出版物として発行などし、知の蓄積を行う。
- ⑥ キリスト教精神に基づくものではあるが、未だに社会の共通認識にと至っていない幅広い課題をプログラム化し、もってキリスト教系メディア、一般メディアの関心を高め、啓発活動を活発化する。

## (2) 関西セミナーハウス

- ① 関西セミナーハウスの事業は、2021年4月から2022年3月まで臨時休業とする。
- ② 関西セミナーハウスの臨時休業中であっても、施設活用については、新規プロジェクトチームからの提案を含め種々検討を行い、コロナの状況を含めた内外の諸事情の変更により公益目的に資する事業（新規事業等）に実現可能性が見いだせた場合は、理事会の承認のもとで、事業等を再開する。
- ③ アカデミー活動の安定的継続を支援するため、宿泊施設・会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供する方策を鋭意検討する。

## 2) 収益事業

### (1) 関西セミナーハウス

- ① 関西セミナーハウスの事業は、2021年4月から2022年3月まで臨時休業とする。
- ② 関西セミナーハウスの臨時休業中であっても、施設活用については、新規プロジェクトチームからの提案を含め種々検討を行い、コロナの状況を含めた内外の諸事情の変更により事業の再開や新規事業などに実現可能性が見いだせた場合は、理事会の承認のもとで、事業等を再開する。
- ③ 事業再開を検討する際は、一般利用者、企業等に対して施設の利用を促進し、その収益の一部を公益活動に資する方策を組み込む。

### (2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を当該施設の補修、維持、向上等及び公益活動への貢献に資する。

## 3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告する。同時に、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況について

ては、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

### 3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たって、継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

### 4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益目的事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の拡充を図る。

## II 関東活動センター2021年度事業計画

2021年度の関東活動センターは、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画している。

1. Covid-19 感染拡大の中で、今必要とされる課題についての講座や企画に絞って事業展開をする。
2. 「今日的課題」Ⅰとして、Covid-19 感染拡大の中での教会の在り方について共同研究をし、その成果を書籍にして問う。
3. 「宗教対話」Ⅰとして、連続講座「日本キリスト教史を読む 第一期（明治篇）」のアンコール開講を全面リモート（Zoom）で実施する。前回聞き逃した受講者だけでなく、リモートでの開講によって関西セミナーハウス活動センターの会員、さらに全国での受講者を募る。
4. 「宗教対話」Ⅱは、これまでに引き続き柏木義円研究会との共催で、柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を実施する。
5. 「宗教対話」Ⅲの「悪と苦難の問題」は、昨年度 Covid-19 感染拡大のため、実施を延期したため、2021 年度に一部ずれ込んだもの。
6. 「宗教対話」Ⅳは、性的マイノリティーの問題を教会の課題として取り上げる新規プログラムである。LGBT の当事者だけでなく、教会や信徒の理解を得るために企画された。但し、問題の深刻さを考慮し、リモートではなく、対面式の連続講座とする。
7. 聖書を読む講座は、これまで継続してきた山口里子氏による「新しい聖書の学び」の連続講座に続けて、上林順一郎牧師による連続講座「この時代の中で聖書からのメッセージを読み解く」を実施する。「新しい聖書の学び」は全面 Zoom での開講とし、現在全国から 80 名の参加がある。また「この時代の中で」は、Zoom と対面

式の同時並行で実施する。

8. 体験プログラムとして、昨年に引き続き「礼拝の言葉を豊かに」というテーマで、話し方ワークショップを月に一度のペースで開催する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語の訓練を行う。
9. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2021年度も各神学校の賛助を得て、第12回プログラムを実施する。この神学生交流プログラムの第1回から校長として協力して頂いた関田寛雄先生を囲む元参加者によるリユニオンも計画している。第10回までの参加者約150名（その多くは現在各地の教会に仕える牧師・伝道者として働いている）に呼びかける。

フォーラム事業			
関東フォーラム 今日的課題Ⅰ	共同研究	「コロナ後の教会への希望」 荒瀬牧彦（日本聖書神学校教授）	2021年度4回Zoomにて研究会開催
関東フォーラム 今日的課題Ⅱ		「パンデミックに抗して」 講師・未定	未定
関東フォーラム 宗教対話Ⅰ	8回	連続講座「日本キリスト教史を読む」Ⅰ（明治篇 アンコール開講）講師 戒能信生（早稲田奉仕園、関西セミナーハウス活動センターと共催） Zoomによる全国向け講座	第1回5月13日(木) 第2回6月10日(木) 第3回7月8日(木) 第4回8月12日(木) 第5回9月9日(木) 第6回10月14日(木) 第7回11月11日(木) 第8回12月9日(木)
関東フォーラム 宗教対話Ⅱ	1回	柏木義円公開講演会「柏木義円の終末論」講師 若井和生（柏木義円研究会との共催）	11月15日(月)
関東フォーラム 宗教対話Ⅲ	6回	「悪と苦難の問題を考える」 講師・本田峰子（二松学舎大学教授）	第5回4月15日(木) 第6回5月20日(木)

関東フォーラム 宗教対話Ⅳ	5回	「教会と LGBT」講師・中村 吉基（早稲田奉仕園と共催）	第1回1月13日（水） 第2回2月10日（水） 第3回3月10日（水） 第4回4月7日（水） 第5回5月12日（水）
聖書を読む講座Ⅰ	6回	「この時代の中で聖書からの メッセージを読み解く」Ⅲ 講師 上林順一郎 （早稲田奉仕園、関西セミナ ーハウス活動センターと共 催）	第1回5月26日（水） 第2回6月23日（水） 第3回7月28日（水） 第4回9月22日（水） 第5回10月27日（水） 第6回11月24日（水）
聖書を読む講座Ⅱ	10回	新しい聖書の学び「マルコ福 音書をじっくり読む」Ⅳ講師 山口里子（早稲田奉仕園、関 西セミナーハウス活動センタ ーと共催）	第1回4月13日（火） 第2回5月11日（火） 第3回6月8日（火） 第4回7月13日（火） 第5回9月14日（火） 第6回10月12日（火） 第7回11月9日（火） 第8回12月14日（火） 第9回1月11日（火） 第10回2月8日（火）
話し方ワークショ ップ	10回	「礼拝の言葉を豊かに」話し 方ワークショップ（ステッ プ・アップ講座、初心者も可） 講師・友野富美子	第1回5月18日（火） 第2回6月15日（火） 第3回7月20日（火） 第4回9月21日（火） 第5回10月19日（火） 第6回11月16日（月） 第7回12月21日（火） 第8回1月18日（火）

			第9回2月15日(火) 第10回3月15日(火)
神学生交流プログラム		第12回神学生交流プログラム 校長 神田健次(関西学院大学名誉教授)、講師 廣石望(立教大学教授) 開催場所は未定	2022年3月8日~10日
神学生交流プログラム・リユニオン		第1回~第10回の参加者に呼びかけ 開催場所は未定	2022年3月7~8日

### Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター2021年度事業計画

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の広がりのため、関西セミナーハウス活動センターが長年特色としてきた、参加者が全員ハウスに集まり、そこで発題講演を聞き、それを巡って時間をかけて話し合いを深めるプログラムを開催することが困難になった。そこで多くの場合、発題講演者と参加者をオンラインでつなぎ、Zoomを用いて、発題講演を聞き、その後の話し合いを展開する方法をとって、プログラムを開催した。この方式により、講師と参加者が、顔と顔を合わせて話し合いをする豊かさは損なわれたが、代わりに、関西セミナーハウス近隣の人だけでなく、北海道や、アメリカなどの遠隔の地にいる人も、講師や参加者としてプログラムに参加することができた。

2021年度も、当分の間コロナ感染症の広がりが続くと予想されるので、当活動センターのプログラムもZoomによる方式を採用することになる。Zoomに慣れていない人には、技術的援助を行う。自分の場所でZoomに参加できない人は、関西セミナーハウスでZoomに参加できるようにする。

1. 修学院フォーラム「社会」においては、Zoomの特徴を生かして、関東活動センターが主催する「日本キリスト教史を読むⅠ(明治篇)」を共催する。  
それと並行して、独自に、「アメリカの政治的動向」、「原発問題」、「人種的ソーシャルディスタンス」などについて考える。
2. 修学院フォーラム「福祉」においては、パンデミックの原因となる「気候変動の意味」と、パンデミックによりもたらされる、「子ども、女性、若者の貧困」について考える。

3. 修学院フォーラム「いのち」においては、パンデミックにより傷ついている人が多いこの時に、「音楽による看取り」と「ヒップホップ音楽による癒し」について考える。
4. 開発教育セミナーにおいては、人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、私たちの社会のありようを考える。

フォーラム事業			
修学院フォーラム 社会	全8回	日本キリスト教史を読むI (明治篇) 講師 戒能信生 (日本基督教団千代田教会牧師) 関東活動センター、早稲田奉仕園と共催	第1回5月13日(木) 第2回6月10日(木) 第3回7月8日(木) 第4回8月12日(木) 第5回9月9日(木) 第6回10月14日(木) 第7回11月11日(木) 第8回12月9日(木)
	第2回	分断と陰謀論のアメリカ——ポスト・トランプの時代に 講師 森本 あんり (国際基督教大学教授)	5月22日(土)
	第3回	シュリンクするまち・リボーンするまち 講師 高田清太郎 (株式会社高田建築事務所 代表取締役会長)	7月24日(土)
	第4回	エネルギーを考える第10回 パンデミックと脱原発 (仮) 講師 交渉中	2022年1月10日(月、祝)
	第5回	人種的「ソーシャルディスタンス」への挑戦—奥村多喜衛の事例 講師 吉田 亮 (同志社大学社会学部教授)	2022年3月12日(土) (仮)

修学院フォーラム 福祉	第1回	気候変動とキリスト教一人新世と宗教 講師 福嶋 揚 (神学博士)	9月11日(土)
	第2回	子ども・女性・若者の「貧困」(仮) 講師 交渉中 京都 YWCA と共催	10月(仮)
修学院フォーラム いのち	第1回	音楽(ハープ)による看取りのケア 講師 キャロル・サック(アメリカ福音ルーテル教会宣教師)	4月10日(土)
	第2回	ヒップホップに宿るアナムネーシスの力 講師 山下壮起(日本基督教団阿倍野教会牧師)	6月12日(土)
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー 「SDGs(持続可能な開発目標)を じぶんごとに」 共催 京都市国際交流協会	6月20日(日)
	第2回	コロナ禍でくらす外国人技能実習生の今(仮) 講師 斉藤善久(神戸大学大学院国際協力研究科准教授)	7月11日(日)
	第3回	日本と韓国の過去・現在・未来～共に生きる隣人として(仮) 講師 太田修(同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授)	9月12日(日)
	第4回	私たちは気候変動を食い止めることができるのか?(仮) 講師 伊与田昌慶(気候ネットワーク主任研究員)	10月10日(日)



	第5回	持続可能な食と農をめざして～食料 主権をとりもどす (仮) 講師 西川芳昭 (龍谷大学経済学部 教授)	11月14日 (日)
	第6回	誰のための平和か～中東で起きてい ることを理解する (仮) 講師 末近浩太 (立命館大学国際関 係学部教授)	12月12日 (日)

#### IV 関西セミナーハウス2021年度事業計画

理事会決議により関西セミナーハウス事業が2021年4月から2022年3月まで臨時休業になる中で、2021年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りとする。

##### 1. 運営方針

- 1) 関西セミナーハウスの臨時休業中であっても、施設活用については、新規プロジェクトチームからの提案を含め種々検討を行い、コロナの状況を含めた内外の諸事情の変更により事業の再開や新規事業などに実現可能性が見いだされた場合は、理事会の承認のもとで、事業等を再開する。
- 2) 関西セミナーハウス施設の有効活用策を検討するため、プロジェクトチーム（施設再生プロジェクト）を立ち上げる。当プロジェクトチームは、事業再開を含めた施設の具体的展開策を上申する。
- 3) 臨時休業中の施設維持管理費、人件費等の諸経費は本部事務局の管理下に置くが、その発生を最小限に留める。
- 4) 上述の支出削減努力にもかかわらず、資金不足の発生が予測される場合、理事会の承認のもと財団の運用基金を必要額だけ取り崩す。

##### 2. 予算編成作業実施にあたっての留意点

関西セミナーハウスについては、会計単位収支計算書は白紙とし、別に施設維持管理計算書を作成する。

( 以 上 )